

別紙

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設 に係る整 備、維持補 修又は維持 運営等措置	町道維持補修事業（町道出口 横山線舗装工事）	安芸太田町	15,397,560	14,260,000	
2	公共用施設 に係る整 備、維持補 修又は維持 運営等措置	町道維持補修事業（町道船場 来見線舗装工事）	安芸太田町	12,289,320	11,855,000	

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持補修事業（町道出口横山線舗装工事）			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安芸太田町			
交付金事業実施場所	広島県山県郡安芸太田町大字穴				
交付金事業の概要	<p>「第2次安芸太田町長期総合計画」において、日常生活や産業活動を支える道路網をつくることを主要施策項目に掲げており、個別施策の展開として安全な道路づくりと管理を行うことにしています。町道出口横山線全線3,517.5mの内、特に緊急性の高い788mの舗装工事を施工します。</p> <p>・舗装工 L=788m A=3,630㎡</p>				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第2次安芸太田町長期総合計画（平成27年度～令和6年度） 第4節【社会基盤・防災・防犯】 第1項快適な社会基盤が整うまちをつくります 1 日常生活や産業活動を支える道路網をつくります 個別施策の展開 (4) 安全な道路づくりと管理を行います</p> <p>本事業が電源立地地域対策交付金により行われていることを安芸太田町ホームページで広報し、地域住民の電源開発への理解・協力及び発電用施設等の設置及び運転の円滑化に資することを目標とします。</p>				
事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	平成30年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	平成30年度
	管理瑕疵による事故発生件数0件	管理瑕疵による事故発生件数	成果実績	件	0
			目標値	件	0
			達成度	件	100.0%
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
<p>本交付金の活用により、道路の舗装工事788mが施行できました。 次年度に向けて、日常的なパトロール等による点検を定期的にも実施し、管理瑕疵による事故発生件数0件を確認しました。</p>					

	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度		
	舗装工事の延長	活動実績	m	788		
		活動見込	m	788		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等	平成30年度				備考	
総事業費	15,397,560					
交付金充当額	14,260,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	14,260,000					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額	
	町道舗装工事	一般競争入札	株式会社 竹下建設 (安芸太田町)		15,397,560	
交付金事業の担当課室	建設課					
交付金事業の評価課室	総務課					

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持補修事業（町道船場来見線舗装工事）			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安芸太田町			
交付金事業実施場所	広島県山県郡安芸太田町大字穴				
交付金事業の概要	<p>「第2次安芸太田町長期総合計画」において、日常生活や産業活動を支える道路網をつくることを主要施策項目に掲げており、個別施策の展開として安全な道路づくりと管理を行うことにしています。町道船場来見線全線1,648mの内、特に緊急性の高い420mの舗装工事を施工します。</p> <p>・舗装工 L=420m A=2,220㎡</p>				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第2次安芸太田町長期総合計画（平成27年度～令和6年度） 第4節【社会基盤・防災・防犯】 第1項快適な社会基盤が整うまちをつくります 1 日常生活や産業活動を支える道路網をつくります 個別施策の展開 (4) 安全な道路づくりと管理を行います</p> <p>本事業が電源立地地域対策交付金により行われていることを安芸太田町ホームページで広報し、地域住民の電源開発への理解・協力及び発電用施設等の設置及び運転の円滑化に資することを目標とします。</p>				
事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	平成30年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	平成30年度
	管理瑕疵による事故発生件数0件	管理瑕疵による事故発生件数	成果実績	件	0
			目標値	件	0
			達成度	件	100.0%
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
<p>本交付金の活用により、道路の舗装工事420mが施行できました。 次年度に向けて、日常的なパトロール等による点検を定期的にも実施し、管理瑕疵による事故発生件数0件を確認しました。</p>					

	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度		
	舗装工事の延長	活動実績	m	420		
		活動見込	m	420		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等	平成30年度				備考	
総事業費	12,289,320					
交付金充当額	11,855,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	11,855,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
町道舗装工事		一般競争入札		廣濱建設 株式会社 (安芸太田町)		12,289,320
交付金事業の担当課室		建設課				
交付金事業の評価課室		総務課				

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
(4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
(5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
(6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
(7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。

なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合には、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。